

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 文学国語（数研出版））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 平成の小説 ・「私の住むことになった部屋」は、どのような部屋だったかをまとめる。 ・「母」に対する「私」の心情は、どのように変化しているかを時系列に沿ってまとめる。 ・「私」にとって、「鍋セット」とは何であったかを考える。 ・誰かからの贈り物で、大切にしているものを提示して、三分程度のスピーチをする。	「鍋セット」 角田光代	○	○	○	【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿ってスピーチをしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
	2 昭和初期の小説 ・山椒魚の心情変化をまとめる。 ・山椒魚と蛙の関係はどのように変化していったかを、それぞれの心情に着目しながらまとめる。 ・この小説を寓意小説と見た場合、人間におけるどのような状況を表しているかを考える。 ・山椒魚の考え方や行動について、どのような感想を持ったかを話し合う。	「山椒魚」 井伏鱒二	○	○	○	【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2 学 期	3 文学の扉 ・本文全体から、虎になる前の李徴の人柄を箇条書きで整理し、文章でまとめる。 ・李徴自身は、自分が虎になったのはなぜだと考えているかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にしたのはなぜかを考える。	「山月記」 中島敦	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1

2 学 期	3 探究の扉 ・『山月記』と『人虎伝』の内容上の違いを、箇条書きで書く。	「山月記」中島敦 「人虎伝」李景亮				【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学 期	5 詩歌 ・「雲白く遊子悲しむ」の悲しみの内容はどのようなものを説明する。 ・詩を音読し、そのリズムや文語体にどのような印象を受けたかを話し合う。	「小諸なる古城のほとり」島崎藤村				【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品が持つリズムや文体が与える印象を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○	○	○	8
	6 詩歌 ・「兜率の天の食」は、「天上のアイスクリーム」とあったものが後に書き換えられた表現だが、このことによって読者が受ける印象はどのように変わるかを説明する。 ・「わたくし」の「いもうと」に対する心情変化を整理する。 ・「松の針」「無声慟哭」も合わせて読み、宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりについて、感じたことを話し合う。	「永訣の朝」宮沢賢治				【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○	1 合計 70